

7 教育課程表(編入学生用)

II

編入学生特記事項

編

教育課程表

授業科目区分		授業科目名称・配当年次等 (●は必修、(留)は外国人留学生選択科目、()の数字は単位数)				編入学時に 認定される 単位数	編入学後に 修得が必要 な単位数 (最低)		
		1年次	2年次	3年次	4年次				
共通科目	基礎教育	●学修の基礎Ⅰ(2) ●学修の基礎Ⅱ(2) ●学修の基礎Ⅲ-a(2) ●学修の基礎Ⅲ-b(情報リテラシー)(2)				32 (編入学包括認定)	-		
	人間力形成教育	人間存在の課題(2) 社会生活と倫理(2) 文学の世界(2) 人類と文化(2) 美とは何か(2) 記号と論理(2) コミュニケーション論(2) 心理学(2) からだと健康(2) 日本人の生活意識(2) 性格とは何か(2) 生命と遺伝子(2) スポーツ科学講義A(2) スポーツ科学講義B(2) スポーツ科学演習A(2) スポーツ科学演習B(2) ボランティア講義(2) <単位認定科目> ボランティア活動A(2) ボランティア活動B(2)	人間形成ゼミナール(2)						
		日本の歴史(2) 国際関係論(2) 国際貢献論(2) 民族と宗教(2) 異文化コミュニケーション論(2) 日本語と日本文化A(留)(2) 日本語と日本文化B(留)(2) フランス語とフランス文化A(2) フランス語とフランス文化B(2) ドイツ語とドイツ文化A(2) ドイツ語とドイツ文化B(2) スペイン語とスペイン文化A(2) スペイン語とスペイン文化B(2) 韓国語と韓国文化A(2) 韓国語と韓国文化B(2) 中国語と中国文化A(2) 中国語と中国文化B(2) 英語文化研究A(2) 英語文化研究B(2) <単位認定科目> 異文化実地研修A(2) 異文化実地研修B(2)	国際理解ゼミナール(2)						
		法学(2) 日本国憲法(2) 経済のしくみ(2) 社会と生活(2) 政治のしくみ(2) 社会思想史(2) 日本企業論(2) 地理と環境(2) 自然環境論(2) 都市と生活(2) 生活と安全(2) 行動科学(2) データのまとめ方(2) 数理の世界(2) 身近な物理(2) 現代物理のはなし(2) 身近な化学(2) 科学技術と社会(2)	社会生活ゼミナール(2)						
	●キャリアプランニングⅠ(2) ●キャリアプランニングⅡ(2) ●キャリアプランニングⅢ(2)	キャリアデザイン(4)							
	<単位認定科目> インターンシップA(2) インターンシップB(2) インターンシップC(2) インターンシップD(2) ビジネススキルA(2) ビジネススキルB(2) ビジネススキルC(2) ビジネススキルD(2)	特別聴講科目A(2) 特別聴講科目B(2) 特別聴講科目C(2) 特別聴講科目D(2)							
	<他学部・他学科開放科目(キャリア形成教育)> *「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.82								
	<産学連携教育プログラム> *「産学連携教育プログラムの履修」を参照してください。→P.90 ANAツーリズム・ホスピタリティプログラム ビジネスコミュニケーションプログラム 野村證券ファイナンスプログラム 日経・ビジネスプログラム サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム								
	必修科目	●フレッシュパーソンゼミ(4) ●経済学概論Ⅰ(2) ●経済学概論Ⅱ(2)	●ミクロ経済学Ⅰ(2) ●ミクロ経済学Ⅱ(2) ●マクロ経済学Ⅰ(2) ●マクロ経済学Ⅱ(2)					4 (編入学弾力認定)	12
	必修科目	●英語Ⅰ-a(1) ●英語Ⅱ-a(1) ●英語Ⅰ-b(1) ●英語Ⅱ-b(1)	●英語Ⅲ-a(1) ●英語Ⅲ-b(1)					6 (編入学弾力認定)	-
専門科目	選択科目	経済統計論Ⅰ(2) 英書講読Ⅰ(2) 経済統計論Ⅱ(2) 英書講読Ⅱ(2) 日本経済論Ⅰ(2) 日本経済論Ⅱ(2) 経済学史Ⅰ(2) 経済学史Ⅱ(2)	上級ミクロ経済学(2) 国際経済学Ⅰ(2) 上級マクロ経済学(2) 国際経済学Ⅱ(2) 財政学Ⅰ(2) 国際金融論Ⅰ(2) 財政学Ⅱ(2) 国際金融論Ⅱ(2) 金融論Ⅰ(2) 開発経済論Ⅰ(2) 金融論Ⅱ(2) 開発経済論Ⅱ(2) 経済政策論Ⅰ(2) 経済政策論Ⅱ(2)		4 (編入学弾力認定)	20			
	必修科目	簿記原理Ⅰ(2) 経営学総論Ⅰ(2) 税法総論(2) 国際経営学Ⅰ(2) 産業組織論(2) 簿記原理Ⅱ(2) 経営学総論Ⅱ(2) アメリカ経済論Ⅰ(2) 国際経営学Ⅱ(2) 法と経済学(2) 経済数学Ⅰ(2) 経済思想史Ⅰ(2) アメリカ経済論Ⅱ(2) 労働経済論Ⅰ(2) 社会関連会計(2) 経済数学Ⅱ(2) 経済思想史Ⅱ(2) ヨーロッパ経済論Ⅰ(2) 労働経済論Ⅱ(2) 日本経済史(2) 海外研修Ⅰ(2) ヨーロッパ経済論Ⅱ(2) 計量経済学Ⅰ(2) 東洋経済史(2) 海外研修Ⅱ(2) アジア経済論Ⅰ(2) 計量経済学Ⅱ(2) 民法(2) 会計学総論Ⅰ(2) アジア経済論Ⅱ(2) 経済変動論Ⅰ(2) 西洋経済史Ⅰ(2) 会計学総論Ⅱ(2) 情報処理Ⅰ(2) 経済変動論Ⅱ(2) 西洋経済史Ⅱ(2) 会社法Ⅰ(2) 情報処理Ⅱ(2) 地方財政論Ⅰ(2) 憲法(2) 会社法Ⅱ(2) 地方財政論Ⅱ(2)	経済学演習Ⅰ(4)	経済学演習Ⅱ(卒業論文を含む。)(6)	4 (編入学弾力認定)	30			
	選択科目	ファイナンシャル・プランナー講座Ⅰ(4) 情報処理検定講座(4) キャリア講座Ⅰ(2) キャリア講座Ⅲ(2) ファイナンシャル・プランナー講座Ⅱ(4) 公務員講座(4) キャリア講座Ⅱ(2) キャリア講座Ⅳ(2)							
選択科目	経営史Ⅰ(2) 社会保険論Ⅰ(2) 応用簿記Ⅰ(2) 企業法(ビジネス法)Ⅰ(2) 税務会計論Ⅰ(2) 経営史Ⅱ(2) 社会保険論Ⅱ(2) 応用簿記Ⅱ(2) 企業法(ビジネス法)Ⅱ(2) 税務会計論Ⅱ(2) 環境経済論Ⅰ(2) 経営管理論Ⅰ(2) 原価計算Ⅰ(2) 経営分析Ⅰ(2) 環境経済論Ⅱ(2) 経営管理論Ⅱ(2) 原価計算Ⅱ(2) 経営分析Ⅱ(2) 環境政策論Ⅰ(2) サービス経済論Ⅰ(2) 公共経済学(2) マーケティング論Ⅰ(2) 環境政策論Ⅱ(2) サービス経済論Ⅱ(2) 交通経済論Ⅰ(2) マーケティング論Ⅱ(2) 人口経済学Ⅰ(2) 環境社会学(2) 交通経済論Ⅱ(2) 経営組織論Ⅰ(2) 人口経済学Ⅱ(2) 財務管理論Ⅰ(2) 財務会計論Ⅰ(2) 経営組織論Ⅱ(2) 食料環境経済論Ⅰ(2) 財務管理論Ⅱ(2) 財務会計論Ⅱ(2) 経営戦略論Ⅰ(2) 食料環境経済論Ⅱ(2) 生活経済学Ⅰ(2) 管理会計論Ⅰ(2) 経営戦略論Ⅱ(2) 生活経済学Ⅱ(2) 生活経済学Ⅱ(2) 国際会計論(2) 証券論(2) 監査論Ⅰ(2) 監査論Ⅱ(2)			12 (編入学弾力認定)	-				
<他学部・他学科開放科目(専門科目)> *「他学部・他学科開放科目の履修」を参照してください。→P.82					-				
合計卒業要件単位数(最低)					62	62			
					124				

■ 履修方法

次のとおり合計62単位以上修得しなければならない。(具体的な科目名称等については、教育課程表を参照してください。)

授業科目区分		卒業要件 単位数 (○は必修)	編入学時に 認定される 単位数	編入学後に 修得が必要 な単位数	履 修 方 法	
共通科目	基礎教育	⑧	32	-	(履修できません。)	
	人間力形成教育	人間形成		4	-	(卒業要件には算入されません。)
		国際理解		4	-	
		社会生活		4	-	
	キャリア形成教育	⑥		-	(履修できません。)	
	その他【人間力形成教育・キャリア形成教育】	6		-	(卒業要件には算入されません。)	
計	32	32	-	-		
専門科目	コースコア科目	②②	4	12	必修 6科目12単位修得	
	英語科目		6	-	(履修できません。)	
	コース基礎科目	24	4	20	選択必修 コース基礎科目から20単位修得	
	コース発展科目	34	4	30	選択必修 コース発展科目から30単位修得	
	その他【専門科目】	12	12	-	(卒業要件には算入されません。)	
	計	92	30	62	-	
合計	124	62 (+ α)	62 (- α)	-		

卒業要件単位数	124単位
編入学時認定単位数	62単位 (+ α)
編入学後に修得しなければならない単位数	62単位 (- α)

個別認定 (α)	<p>編入学包括・弾力認定(62単位)の他に、編入学前の短期大学等において単位を修得した授業科目で、その内容が本学で開設する授業科目に相当し、かつ当該授業科目の単位として認定することが教育上有益と認められる場合は、8単位を上限として単位を追加認定します。</p> <p>ただし、個別認定する単位数は、編入学包括・弾力認定(62単位)と合わせて編入学前の短期大学等において修得した総単位数を超えないものとします。</p>
-------------------	---